
幸せの郵便局

十七番

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幸せの郵便局

【Nコード】

N4667J

【作者名】

十七番

【あらすじ】

退屈そうな少年、魁の幸せなのか不幸な物語が始まる・・・

始まり（前書き）

梓「一緒に帰ろ！」

と言われて、仕方なく歩みを進めた魁。

始まり

どこでもありそうな商店街……

魁と梓はその一本道を通る

さまざまな人の声が聞こえる。

魁（五月蠅い……黙るということを知らないのか？）

うつむきながらそう考える魁。

梓「前見る！」

突然の蹴りが背中に叩き込まれる。

苦痛に顔をしかめる魁。

梓「もうちょっと楽しく出来ないの？女子と一緒になんだしい」

さつき蹴ったとは微塵にも感じさせない笑顔を見せる。

それでも魁は、無愛想な顔で返し、自分の家へと足を進めた。

梓「待ってよ」

梓が追いかける。

魁（本当になんだこいつ？自分とかかわって利益があるのか？）

他人A「危ない！」

不意の声。

後ろでダンボールの棚が倒れてきた。

梓「えっ？」

梓はあまりに突然の出来事に動くことが出来ない。

魁は梓をつかみ後ろに投げた。

そして、かばんを振り上げ、

一気に振り下ろした。

魁「・・・・・・・・たるい」

ダンボールは二人を避けるように広がった。

魁は梓を見ず、再び歩き出した。

始まり（後書き）

面白いと思われる幸いです。

一緒に帰る！（前書き）

梓「一緒に帰る！」

と言われて、仕方なく歩みを進めた魁。

一緒に帰る！

どこでもありそうな商店街・・・

魁と梓はその一本道を通る

さまざまな人の声が聞こえる。

魁（五月蠅い・・・黙るということを知らないのか？）

うつむきながらそう考える魁。

梓「前見る！」

突然の蹴りが背中に叩き込まれる。

苦痛に顔をしかめる魁。

梓「もうちょっと楽しく出来ないの？女子と一緒になんだしい」

さつき蹴ったとは微塵にも感じさせない笑顔を見せる。

それでも魁は、無愛想な顔で返し、自分の家へと足を進めた。

梓「待ってよ」

梓が追いかける。

魁（本当になんだこいつ？自分とかかわって利益があるのか？）

他人A「危ない！」

不意の声。

後ろでダンボールの棚が倒れてきた。

梓「えっ？」

梓はあまりに突然の出来事に動くことが出来ない。

魁は梓をつかみ後ろに投げた。

そして、かばんを振り上げ、

一気に振り下ろした。

魁「・・・・・・・・たるい」

ダンボールは二人を避けるように広がった。

魁は梓を見ず、再び歩き出した。

一緒に帰る！（後書き）

面白いと思われる幸いです。

関わるな

今日はあいにくのどしゃ降りの雨。

しかし、魁にとっては

晴れだろうと雨だろうと関係ない。

魁「・・・」

無言で自分の席に着く魁。

生徒の話し声が聞こえてくる。

生徒A「おい、あいつまた来てるぜ？」

生徒B「何しに来るんだ？全く・・・話しかけるなオーラもびんびん出てるし」

これでいい。

魁は心の中でそうつぶやく。

しかし・・・・・・

世の中そうは行かない。

梓「いやっほあゝ！！みんなおはよ〜！」

雨の朝にもハイテンションで梓がやってきた。

梓はクラスの人気者と言ってもいい存在だ。

魁「・・・・・・・・・・・・・・・・」

魁は外を眺める。

梓「いよっす！魁」

魁「！！！！！！！！」

魁は凄い驚いた。

梓がいきなり話しかけてきたのだ。

梓「なにしてんのさ！もうちょっと明るくさあ」

すると、梓はハツとしたような顔をする。

梓「そうそう！昨日はアリガト！いや！いつもならあんなダンボール楽勝なんだけど、

ビックリしてね！動けなかったんだよ！」

魁「・・・・・・・・・・るな。」

梓「え？」

魁「関わるな。一切な。俺と一緒にいるとお前もいつか・・・・・・・・」

ガラッと魁は席を立つ。

梓「なんで!？」

梓は去っていく魁の背中を見ながら何かを考えるそぶりを見せた。

梓「魁かぁ・・・ハハッ仲間にしようか!」

スカウトしに・・・(前書き)

スカウトしに・・・

魁「・・・・・・・・・・」

ただ白いだけの廊下。

だが、その中にも汚れはある。

どれにもだ。

秋北高校・・・・そこは二つの校舎がある。

一つは、魁や梓がいるAゾーン

もう一つは不良の溜まり場Zゾーン

だが不良達はAゾーンにやってきては悪さをする。

しかし、一部の教師はソレを止めようとはしない。

白の中にも黒はある。

不良A「ハハハハ！！死ねコラァ！」

不良B「こいやぁ！ギャハハハ！」

Aゾーンで不良がケンカを始めた。

だが、魁には関係の無いこと。

アアアアアアアアアアアア！」

魁は傷一つ無く歩く。

梓「ねえ・・・・・・・・」

ビクウ！！

梓「アハハハハ！魁ってこういうの弱いんだ！意外」

魁「・・・・・・・・・・・・・・・・」

むすつとした顔で梓を見る魁。

梓「『何？』て聞きたいんでしょう？教えてあげる・・・・・・・・私はあなたを・・・・・・・・」

少し溜め魁に指差し・・・・・・・・

梓「私はあなたをスカウトしに来たの！我が創立される部活にね！」

魁（ハア？）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4667j/>

幸せの郵便局

2010年12月10日02時36分発行